

# 平成23年度 事業計画書

自 平成23年4月1日  
至 平成24年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号  
(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

## I. 事業方針

---

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

平成23年3月11日に発生した東北太平洋沖地震の未曾有の被災状況から、本会は国民感情や復興への協力に留意し、競技会主催者ならびに加盟団体に4月までの競技会の延期もしくは自粛を呼びかけ、協力をいただいた。またMFJホームページを通じて日本赤十字社への義援金の募集を行った。

主要な競技会も4月に予定されていた世界選手権 MotoGP日本グランプリを始め全日本選手権も影響を受け全体の日程見直しを行った。5月からはスポーツ本来の意義である『楽しさ』『元気』を社会に与えられるよう前向きに開催する方針とする。

平成23年度はスポーツ傷害基金(共済会)から外部保険のスポーツ安全保険へ移行することに伴うライセンス有効期間の変更(1月～12月⇒4月～翌年3月)により、従来行っていた会費の年度期間配分を廃することから、今年度は大きな減収が見込まれる。さらに、震災による会員の減少も考慮しなければならない。

また、長期に亘る会員数の減少が数年前より損益分岐点を越えていることから、収支を改善する為に本年度より数年かけて事業の効率化と会員確保の計画を立案し実施する。

一方、効率化を目的とするシステム変更、新規会員層の開発、既存会員の満足度向上には投資が必要であり、平成23年度は多額の赤字予算を計上するが、前述の会費期間調整や効率化への投資を除けば通常事業の赤字幅は経費節減等で最小限に抑える所存である。

公益法人制度改革については、公益認定等委員会への相談や会計事務所のコンサルティングによりMFJ事業の殆どが公益事業であることから『公益財団法人』への申請は可能であると判断したが、前述の本会の経営状況を鑑み、一旦『一般財団法人』に認可申請し、経営の安定化が図れた時点で再度『公益財団法人』を目指す方向とすることとし、平成23年9月から10月に認可申請を行う予定である。

## II. 事業内容

### 1. 競技会

#### 1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）を14大会開催する。

#### 2) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。（約600大会予定）

#### 3) 主要競技会日程

- ・各種目の主要競技会は震災の影響から開催日程の再調整を行い下記となった。
- ・主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員長等を派遣する。

#### (1) ロードレース

##### ① 世界選手権／国際競技会／特別競技会

開催日	格式	大会名	会場	MFJ共催	文科省後援
7月29日～31日	世界耐久選手権	ココロ鈴鹿8時間耐久レース	鈴鹿サーキット	○	○
8月27日～28日	国別対抗戦	アジア国別対抗ロードレース日本大会	スポーツランドSUGO	○	○
9月10日～11日	国際選手権	FIMアジア選手権ロードレース日本大会	オートポリス	○	○
9月30日～10月2日	世界選手権	MotoGP日本グランプリ	ツインリンクもてぎ	○	○

※震災の為MotoGP日本グランプリは当初日程の4月24日から10月2日に日程変更された。※上記4大会は観光庁後援

##### ② 全日本選手権（全7戦）

全大会MFJと共催／文部科学省後援／観光庁後援

日程		会場	開催クラス					併催【アジア】		
			JSB	GP2	ST600	GP3	GP-M	SS600	UB115	150
<del>4月3日</del>	第1戦	筑波	○	○	○	○	○			
5月15日	第1戦	鈴鹿2&4	○							
<del>5月22日</del>	第3戦	SUGO2&4	○	○	=	=	=	=	=	=
6月5日	第2戦	AP 2&4			●					
7月3日	第3戦	ツインリンクもてぎ	●	○	○	○	○			
8月7日	第4戦	もてぎ2&4		○						
8月28日	第5戦	SUGO	○	○	○	○	○			●
9月11日	第6戦	オートポリス	○	○		○	○	●	●	
10月9日	第7戦	岡山国際	○	○	○	○	○			
10月30日	第8戦	鈴鹿 MFJ-GP	●	○	○	○	○			

※●は2レース。

※震災の影響で第1戦筑波は中止、第2戦鈴鹿は4月17日から5月15日に日程変更、第3戦SUGO大会は中止

第7戦岡山国際はMotoGPが当初日程の10月2日に延期となったことから10月9日に変更し、GP-2を追加。

第3戦もてぎ大会のJSBは2レース制に変更。第4戦としてもてぎ2&4を追加(J-GP2)

#### (2) モトクロス

##### ① 全日本選手権は全10戦開催。

	日程	会場		日程	会場
第1戦	5月15日	中国	第6戦	9月11日	近畿
第2戦	6月12日	近畿	第7戦	10月9日	中国
第3戦	7月3日	北海道	第8戦	10月23日	MFJ-GP(SUGO)※
第4戦	7月17日	東北(藤沢)	第9戦	11月6日	九州
第5戦	8月7日	SUGO	第10戦	11月20日	関東

※ 最終戦MFJ-GPはMFJ共催／文科省後援／観光庁後援

※ 震災の影響で4月に予定の九州大会、関東大会は11月に日程変更、5月に予定のSUGO大会は8月に変更

②モトクロス全国大会 (文科省後援・観光庁後援)

ジュニア・国内A/B級の全国選抜大会を東北地区(SUGO)にて8月6日に開催。

(3)トライアル

① 世界選手権トライアル

8月20日/21日 世界選手権日本グランプリ MFJ共催・文科省後援・観光庁後援

※震災の影響で当初日程の6月4日/5日から8月20日/21日に日程変更

② 全日本選手権

	日程	会場		日程	会場
<del>第1戦</del>	<del>3月12日</del>	<del>関東</del> 中止	第3戦	9月4日	中国
<del>第2戦</del>	<del>4月17日</del>	<del>近畿</del>	第4戦	10月16日	中部
第1戦	5月15日	九州	第5戦	10月30日	東北
第2戦	8月7日	北海道			

※震災の影響により第1戦関東大会、第2戦近畿大会が中止、

③トライアルグランドチャンピオン大会 11月13日 山口県・フィールド幸楽で中国/四国/九州の3加盟団体の共同主催で開催する。

(4) その他の競技

①スノーモビル全日本選手権 (全6戦)

※開催は2011年1月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	1月30日	新潟(苗場)	第4戦	2月20日	北海道(士別)
第2戦	2月6日	長野	第5戦	2月28日	青森(黒石)
第3戦	2月13日	北海道(和寒)	第6戦	3月6日	北海道(美瑛)

※青森大会が復活

②スーパーモタード (moto1 オールスターズ全8戦)

	日程	会場		日程	会場
<del>第1戦</del>	<del>4月10日</del>	<del>美浜(愛知)</del>	第5戦	7月31日	TS幼夕(広島)
第2戦	5月8日	琵琶湖 SP(滋賀)	第6戦	9月4日	SUGO(宮城)
第3戦	6月5日	伊那(長野)	第7戦	9月25日	HSR九州
第4戦	6月26日	エビス(福島)	第8戦	10月30日	もてぎ(栃木)

※震災の影響により第1戦は中止された。

③エンデューロ全日本選手権

	日程	会場
<del>第1戦</del>	<del>3月19～20日</del>	<del>東北(SUGO)</del>
<del>第2戦</del>	<del>5月1日</del>	<del>九州(山都)</del>
第1戦	6月11日	関東(爺ヶ岳)
第2戦	7月16日～17日	北海道(夕張)
第3戦	9月4日	東北(チースナツパーク)
第4戦	10月1～2日	北海道(日高)
第5戦	11月5～6日	東北(SUGO)

※震災の影響により3月の東北大会は11月に日程変更、第2戦九州大会は中止

#### (5) 全日本選手権ランキング表彰式

全日本選手権各種目のランキング上位3名を表彰する式典を下記にて開催する。

開催日：平成23年12月18日（日） 場所：東京・大手町・日経ホール

#### (6) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

#### (7) 競技施設の公認事業

競技に使用する施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認する。

#### (8) サービス事業（競技運営用備品・用品の販売等）

- ・主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・公認用品製作/販売会社に製品に貼付する公認を証するマークを販売する。
- ・規定に基づき参加者の昇格申請手数料、希望競技番号料等を受け付ける。

### Ⅲ. 普及事業

---

#### 1. 年少者/女性/

##### 1) MF Jロードレースアカデミー in MOTEGI

主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間：2011年4月～11月

受講者：14名（年齢12歳～18歳）

##### 2) MF Jトライアルアカデミー

主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：茨城県・真壁トライアルランド 期間：2011年9月～12年3月 募集定員：20名

年少者（9歳～18歳）女性（年齢問わず）成人男性（年齢問わず）

##### 3) レディースロードレース。

①女性ロードレースを年間2回・講習会3回（模擬レース含む）を開催する。

※3月の第1回大会のレースは震災により中止となった。

2011年度開催スケジュール・会場:筑波サーキット			
	第1回	第2回	第3回
講習会・走行会	3月4日(金)	5月27日(金)	9月22日(木)
レース開催日	<del>3月12日(日)</del>	6月4日(土)	10月1日(土)

- ②今年度よりスポーツランド SUGO にてレディースロードレースを開催する。  
講習会：8月5日(金) レース8月13日(土)

#### IV. 広報対策

---

会員、メディア・販売店・一般への情報提供を内容に応じて下記媒体を活用し効率的に発信する。機関誌は年間4回の発行とする。

- 1) 機関誌ライディングの発行(年間4回)
- 2) 国内競技規則書の発行(年間1回)
- 3) MF J ホームページの運営(速報性を重視し機関誌の補完的役割を果たす)
- 4) プロモーション事業(全日本ロードレース中心)
  - ①全日本ロードレース/モトクロス全戦の放映(CS放送)を促進。
  - ②専用ホームページ「superbike.jp」による情報発信
  - ③メディア向けのシリーズ概要資料作成・配布
  - ④東京モーターサイクルショー等への出展・広報
  - ⑤若手育成のユースカップ奨励賞設定
  - ⑥ファンクラブ(スーパーバイクサポーターズ)の運営

#### V. 安全・環境対策

---

- 1) 規定に基づき所定の基準を満たした競技施設の公認(必要に応じて査察)
- 2) 規定に基づき所定の基準を満たした装備品の公認
- 3) 装備の基準策定と推奨(本年より脊椎パッド義務付け・胸部保護パッド推奨等)
- 4) 環境整備委員会にて事故再発防止を主眼とする事故調査
- 5) モータースポーツライセービング機構(LSO)に加盟。
- 6) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。(随時)
- 7) 観客安全対策の強化。(ネット・コーステフ・立ち入り禁止表示等支援)
- 8) インストラクター養成事業(6月下旬東京にて開催)の継続ならびに、競技役員セミナー等で人材育成を行う。
- 9) ドーピングコントロールの実施  
ロードレース・モトクロス・トライアルの全日本で年間各1回検査を実施する。

#### VI. 地方組織について

---

- 1) 地域二輪車協会の協力を得て全日本選手権等主要イベントの集客向上を目指す。
- 2) 全日本モトクロスの持続可能な運営形態を協議する。
- 3) MF J ネットワークショップ加入促進活動を行う。
- 4) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的で開催する。

## **VII. 国際対策**

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟（以下 FIM という）、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) FIM 総会・FIM アジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) FIM 規則の翻訳
- 4) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、FIM 競技役員セミナーを開催。
- 5) 代表選手派遣
  - ・アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。〈日程未定〉
  - ・国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定
- 6) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 7) アジア国別対抗ロードレースの開催
  - 開催日：2011年8月27日（土）～28日（日）
  - 主催：（財）日本モーターサイクルスポーツ協会
  - 会場：宮城県・スポーツランドSUGO
  - 対象：FIM アジア所属国協会代表選手
  - 車両： ヤマハ YZF R15 ワンメーカーレース

## **VIII. MFJ 創立 50 周年記念事業**

- ・ 記念ロゴを製作、1月よりMFJ発信の各媒体、大会関連印刷物等に使用する。
- ・ 50年の歴史と未来に向けたメッセージを発信する為、WEB上の特別ページを製作し、年間4回（平成23年度2回）の情報更新を行い通年で展開する。
- ・ 全日本ロードレース鈴鹿/全日本モトクロスSUGOのMFJGPで記念行事を行う。  
カテゴリーを越えたイベント（SUGO）
- ・ ポケバイ/ミニバイクとの連携を目的にポケバイ/ミニバイクの全国大会の開催支援を行う。
- ・ 功労者表彰を行う。競技役員は各加盟団体から推薦いただく。

## **IX. 補助金事業**

独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

- ・ 平成23年度ドーピングコントロール 交付申請額：3,300,000円

## **X. 公益法人制度改革への対応**

---

- 1) 今年度中に一般財団法人認可申請を提出する。
- 2) 公益法人会計基準準拠の為、公益法人に精通した会計事務所とのコンサルティング契約を継続し、移行に向けた実務作業を行う。

## **X I. その他の事業**

---

### 1) 諸会議の開催

MFJのスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

- ・理事会／評議員会（6月／12月／3月）・加盟団体会長／事務局長会議・中央スポーツ委員会・技術委員会・専門委員会・部会

### 2) 会員管理システム

会員の利便性向上と効率化を目的にWEB上での入会手続き／決済が出来るシステムを平成24年1月から稼働を目標に実施する。

### 3) スポーツ安全保険

- ・会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
- ・受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。
- ・スポーツ傷害基金の残務処理を行う（支払い期限終了まで）

以上